

Kavli IPMU 10周年記念式典とシンポジウム開催

2007年10月1日にWPI拠点として発足したIPMUは、4年半後にKavli IPMUとなり、2017年10月に10周年を迎えました。これを記念して10月16日-18日に柏の葉キャンパス駅前の三井ガーデンホテルを会場としてシンポジウムを開催し(p. 56-59参照)、初日の16日午後には会場をKavli IPMU研究棟に移して記念式典を挙行了しました(表紙およびp. 40-55参照)。

第10回 Kavli IPMU外部諮問委員会

Kavli IPMUの10周年記念式典及びシンポジウムに併せて、2017年10月18日の午後にKavli IPMUの第10回外部諮問委員会が開催されました。Steve Kahn (Stanford/SLAC) 委員長をはじめ、John Ellis (King's College London)、小島定吉(東京工大)、David Morrison (UC Santa Barbara)、岡村定矩(法政大学)、Nigel Smith (SNOLAB)の6名の委員が出席しました。(p. 39の写真参照)

今回は、WPI支援の5年延長期間に入った今、2021年度の支援終了を見据えて教員構成をいかにするべきか、また現在の研究プロジェクトの検討と今後の方向性について、議論していただき有益な意見をいただきました。

「次世代ニュートリノ科学連携研究機構」発足

2017年10月1日に、Kavli IPMU、東京大学宇宙線研究所、東京大学大学院

理学系研究科の3部局の連携により、梶田隆章宇宙線研究所長兼Kavli IPMU主任研究員を機構長とする「次世代ニュートリノ科学連携研究機構」が発足しました。ニュートリノ研究や実験技術開発を通じて、特にハイパーカミオカンデ計画を推進し、ハイパーカミオカンデが実現した際にはスムーズに研究が進められるよう「理論と実験・観測が強く連携した研究体制の構築」と「世界の中心となるニュートリノ研究拠点の創設」を目指しています。

2017年11月8日には、宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設(岐阜県飛騨市)で発足式が開催されました。



Kavli IPMU 神岡分室前で撮影した式典参加者、関係者による集合写真 (Credit: 次世代ニュートリノ科学連携研究機構)

村山斉機構長、フンボルト財団の研究賞を受賞

Kavli IPMUの村山斉機構長がドイツのアレキサンダー・フォン・フンボルト財団(フンボルト財団)の研究賞受賞者の一人に選ばれました。この賞は毎年最大100人を上限としてドイツ国外の研究者へ贈られるものです。重要な発見や新理論、優れた洞察力等により学問分野へ大きな影響をもたらすとともに将来的に最先端の研究成果を生み出すことが期待できる、国際的に著名な研究者を対象としています。



村山 斉さん

村山機構長は、2018年6月開催のフンボルト財団年次大会での授賞式に出席する予定です。

David Spergel、小松英一郎両主任研究員が2018年ブレークスルー賞受賞

2017年12月3日、米国のブレークスルー財団が2018年の基礎物理学ブレークスルー賞をWMAP科学チームを主導してきた5名の研究者と残り22名のWMAP科学チームのメンバーに

授与すると発表しました。

今回の受賞者にはKavli IPMU主任研究員を兼ねるプリンストン大学教授のデイビッド・スパーゲルさんがWMAPを主導してきた研究者の一人として、またKavli IPMU主任研究員を兼ねるマックスプランク天体物理学研究所ディレクターの小松英一郎さんが受賞対象となったWMAP科学チームのメンバーの一人として名前を連ねています。



デイビッド・スパーゲルさん



小松英一郎さん

梶田隆章主任研究員、バークレー日本賞受賞

東京大学宇宙線研究所長兼Kavli IPMU主任研究員の梶田隆章さんが4回目となる2017-2018バークレー日本賞を受賞しました。この賞はカリフォルニア大学バークレー校の日本研究センターが海外における日本の理解増進に寄与した者に贈る賞で、過去の受賞者は村上春樹(第1回、2008-2009)、宮崎駿(第2回、2009-2010)、坂本龍一(第3回、2013-2014)の3人です。(p. 39の写真参照)



梶田隆章さん

野村泰紀主任研究員が米国物理学会(APS)フェローに

Kavli IPMU主任研究員を兼ねるカリフォルニア大学バークレー校教授の野村泰紀さんが、素粒子・場の理論部門で米国物理学会(APS)フェローに選ばれました。余剰次元でのゲージ統一理論、電弱対称性の破れ、超対称性理論、ダークマター、マルチバース、量子力学及びブラックホールの基礎など、野村さんの素粒子理論分野への多岐にわたるこれまでの貢献が評価されました。



野村泰紀さん

金子大輔博士研究員、第12回(2018年)物理学会若手奨励賞受賞

Kavli IPMU 博士研究員の金子大輔さんが第12回(2018年)日本物理学会若手奨励賞を受賞しました。



受賞対象となった研究論文は金子さんの博士論文で、MEG実験のデータ解析の最終結果に関するものです。MEG実験は、素粒子標準理論では起こり得ないとされる正電荷のミュオン粒子から陽電子とガンマ線への崩壊を探し出し、超対称性大統一理論の証拠を捉えようとする実験で、スイスのポールシェラー研究所で行われ、現在はMEG II実験にアップグレード中です。

浜松ホトニクス株式会社、平成29年度「東京大学稷門賞」を受賞

Kavli IPMUへの寄附により、宇宙のダークマター・ダークエネルギーの探索や宇宙の成り立ちとその発展の研究を推進する「宇宙のダークサイド(浜松ホトニクス)」寄附研究部門の設置に貢献した浜松ホトニクス株式会社が、平成29年度東京大学稷門賞を受賞しました。(p. 39の写真参照。)

Kavli IPMUに関連する稷門賞としては、2012年の米国カブリ財団会長フレッド・カブリ氏の受賞があり、Kavli IPMU News No. 20の53ページに掲載されています。稷門賞のいわれについても、そちらをご覧ください。

Kavli IPMU事務職員らのチーム、2017年度東京大学業務改革総長賞を受賞

Kavli IPMU事務部門総務係の田村利恵子特任専門職員を代表とする事務職員と研究者、東京大学ハラスメント相談室相談員らからなるチームが「ハラスメント防止教育の普及によるリスクマネジメント」の成果により、2017年度東京大学業務改革総長賞を受賞しました。(p. 39の写真参照。)

これはKavli IPMUで教職員とその家族が参加するなどして英語によるハラ

スメント防止教育ビデオを制作したもので、東京大学のポータルページ経由で他部局の研究者も広く受講できるよう設定したことで、全学的な幅広い利用が可能となりました。この取組みが全学にE-Learningでハラスメント教育の機会をもたらし、業務改革につながったと評価されました。

2017年度柏キャンパス一般公開

2017年10月27日、28日の2日間、東京大学柏キャンパス一般公開「柏で探検、知の世界」が開催されました。Kavli IPMUは例年通り盛り沢山の企画で参加しましたが、特に研究棟の大講義室では初日に日影千秋助教の講演「ダークマターとダークエネルギー：すばる望遠鏡で探る見えない宇宙」、2日目に樋口岳雄准教授の講演「もうすぐはじまる Belle II 実験—電子-陽電子衝突実験が拓く新しい素粒子物理学—」があり、盛況でした。2日間でキャンパス全体では8,800名が来場し、Kavli IPMUには3,100名以上が訪れました。



講演する日影千秋助教



樋口岳雄准教授の講演とそれを手伝う博士研究員の森井友子さん。

Kavli IPMU と ICRR の第17回合同一般講演会開催

2017年11月3日に東京大学本郷キャンパスの伊藤謝恩ホールで「なみとつぶのサーカス—宇宙の超精密実験の現在」を主題に、今回で17回目となるKavli IPMUと東京大学宇宙線研究所共

催の一般講演会が開催され、中高生を含む約370名が参加しました。

はじめに宇宙線研究所教授で岐阜県飛騨市神岡町の地下に位置する大型低温重力波望遠鏡 KAGRA に携わる川村静児さんが「『重力波』アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー」と題し講演しました。続いて、Kavli IPMU 助教のマーク・ハーツさんが「『ニュートリノ』T2K実験で探るその性質と将来展望」と題して講演しました。講演終了後には講師を囲む懇談会が催され、熱心に講師に質問する参加者の姿が見られました。



講演後、講師の対談も行われ、会場からの質問に答えるマーク・ハーツ助教(左)と川村静児教授(右)。

「やっぱり物理が好き!—物理に進んだ女子学生・院生のキャリア—」開催

2017年11月18日、Kavli IPMUと東京大学物性研究所、東京大学宇宙線研究所の主催により、物理を学ぶ女子学部生及び女子大学院生のキャリア支援を目的とした「やっぱり物理が好き!—物理に進んだ女子学生・院生のキャリア—」がKavli IPMUで開催され、19名が参加しました。

人事異動

昇任

Kavli IPMU 助教の John Silverman さんが2017年10月1日付でKavli IPMU 准教授に昇任されました。



John Silverman さん

転出

James Wallbridge さんがKavli IPMU 博士研究員から日立製作所主任研究員に転出しました。在任期間は2013年8月1日から2017年12月31日でした。